

福山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「造影 CT 検査後にヨード造影剤による副作用を発生された患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。

【研究課題名】

造影 CT 検査におけるアナフィラキシー初期対応体制の整備が初期対応時間に与える影響に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】

福山医療センター 放射線科 石井郁也

【研究の背景】

造影 CT 検査では、検査に使用するヨード造影剤によって、まれにアレルギーに似た副作用が生じることがあります。多くは軽い症状ですが、重症の場合にはアナフィラキシーと呼ばれる状態となり、血圧低下や呼吸困難などを生じる可能性があります。そのため、副作用が発生した際には、症状を速やかに把握し、適切な初期対応を行うことが重要です。

当院では、造影剤による副作用発生時に、より迅速かつ適切な対応ができるよう、2025 年 9 月に対応方法の見直しを行いました。具体的には、従来の文章を中心とした対応フローを、症状や対応方法を視覚的に確認しやすいフローへ変更するとともに、緊急時に使用する物品の整備などを行いました。

【研究の目的】

本研究の目的は、造影 CT 検査後にヨード造影剤による副作用が発生した患者さんの診療記録を調査し、2025 年 9 月に実施した初期対応体制の整備前後で、副作用発生時の対応内容や対応に要した時間がどのように変化したかを明らかにすることです。

この研究によって、今回の取り組みが迅速な初期対応につながっているかを検証し、今後の造影 CT 検査における安全な検査体制の構築に役立てることを目指します。

【研究の方法】**●対象となる患者さん**

西暦 2010 年 4 月 1 日から西暦 2027 年 3 月 31 日の間に福山医療センターでヨード造影剤を使用した造影 CT 検査を受け、造影剤による即時型副作用が記録された患者さん

●研究期間：福山医療センター倫理審査委員会承認後かつ院長許可後から西暦 2028 年 3 月 31 日**●利用するカルテ情報****・利用するカルテ情報：**

年齢、性別、造影剤副作用歴、アレルギー歴、気管支喘息の既往、使用した造影剤、造影剤投与量、副作用の発現時刻、初発症状、その後に出現した症状、副作用の重症度、医師への連絡および到着時刻、初期処置の内容および開始時刻、酸素投与の有無および開始時刻、アドレナリン筋肉内注射の有無および実施時刻、その他の治療内容、救急対応の有無など

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。調査した情報は当施設で厳重に管理されます。

【研究組織】

この研究は、福山医療センター 放射線科 にて行います。

●研究代表者

福山医療センター 放射線科 石井 郁也

【研究の資金源、利益相反について】

この研究は福山医療センター放射線科の研究活動の一環として実施され、特定の企業・団体からの資金提供は受けていません。

【研究の参加について】

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【問い合わせ先】

国立病院機構福山医療センター 放射線科 石井 郁也

〒720-8520 福山市沖野上町 4 丁目 14-17

電話 084-922-0001（病院代表）